

# フィンランド語文法：初級⑩ 名詞の逆kpt交替・受動現在形

『フィンランド語との対話—吉田欣吾』

<https://yoshidakingo.com/>



# kpt交替のパターン

	A	B	C	D	E
k	kk ⇒ k	k ⇒ 消える	nk ⇒ ng		
p	pp ⇒ p	p ⇒ v	mp ⇒ mm		
t	tt ⇒ t	t ⇒ d	nt ⇒ nn	lt ⇒ ll	rt ⇒ rr

- Aグループ  
2つの子音が1つに。
- Bグループ  
kは消え、pはvに、  
tはdに変化。
- Cグループ  
nkはngに、mpは  
mmに、ntはnnに  
変化。
- D、Eグループ  
ltはllに、rtはrrに  
変化。

左側の形を強形、右側の形を弱形と呼ぶ。



# kpt交替の例

単数	主格	は／が	なし	hattu「帽子」	mäki「丘」	Islanti「アイスランド」
	二つの語幹			hattu-: hatu-	mäke-: mäe-	Islanti-: Islanni-
	属格	の	n	hatun	mäen	Islannin
	分格	を	A	hattua	mäkeä	Islantia
	内格	(中)で／に	ssA	hatussa	mäessä	Islannissa
	出格	(中)から	stA	hatusta	mäestä	Islannista
	入格	(中)へ	母音 + n	hattuun	mäkeen	Islantiin
	接格	(表面)で／に	IIA	hatulla	mäellä	Islannilla
	奪格	(表面)から	ItA	hatulta	mäeltä	Islannilta
	向格	(表面)へ	lle	hatulle	mäelle	Islannille
複数	主格	たち	t	hatut	mäet	Islannit



# 名詞の逆kpt交替（1）

● 次のようなタイプの語では「逆kpt交替」が起こる。

① e で終わる語：

huone 「部屋」 > huonee-

② as, äs, is で終わる語：

vieras 「客」 > vieraa-

③ in で終わる語：

avain 「鍵」 > avaim-



# 逆kpt交替のパターン

	A	B	C	D	E
k	kk ← k	k ← 消える	nk ← ng		
p	pp ← p	p ← v	mp ← mm		
t	tt ← t	t ← d	nt ← nn	lt ← ll	rt ← rr

- Aグループ  
2つの子音が1つに。
- Bグループ  
kは消え、pはvに、  
tはdに変化。
- Cグループ  
nkはngに、mpは  
mmに、ntはnnに  
変化。
- D、Eグループ  
ltはllに、rtはrrに  
変化。

左側の形を強形、右側の形を弱形と呼ぶ。



# 名詞の逆kpt交替 (2)

● 次のようなタイプの語では「逆kpt交替」が起こる。

① e で終わる語:

taide 「芸術」 > taitee-

② as, äs, is で終わる語:

rikas 「豊かな」 > rikkaa-

③ in で終わる語:

suodat<sup>i</sup>n 「フィルター」 > suodat<sup>t</sup>time-



# 名詞の逆kpt交替 (3)

単数	主格	は／が	taide	rikas	suodatin
	属格	の	taitee-n	rikkaa-n	suodattime-n
	分格	を	taide-tta	rikas-ta	suodatin-ta
	内格	(中) で／に	taitee-ssa	rikkaa-ssa	suodattime-ssa
	出格	(中) から	taitee-sta	rikkaa-sta	suodattime-sta
	入格	(中) へ	taitee-seen	rikkaa-seen	suodattime-en
	接格	(表面) で／ に	taitee-lla	rikkaa-lla	suodattime-lla
	奪格	(表面) から	taitee-lta	rikkaa-lta	suodattime-lta
	向格	(表面) へ	taitee-lle	rikkaa-lle	suodattime-lle
複数	主格	たち	taitee-t	rikkaa-t	suodattime-t

●逆kpt交替の起こる語では分格以外ではすべて同じ語幹を使う。

●-eで終わる語の分格は「単数主格 + -tta/-ttä」

●それ以外は子音で終わる語なので、分格は「単数主格 + -ta/-tä」



# 受動現在形（1）

- 「夏期講座：資料」の61課
- 受動形は実はすでに出てきている。
- 教科書で出てくるのは“Oma Suomi 2”に入ってからだが、とても重要な形なので、ここで現在形は勉強してしまう。
- 受動形は人称変化はしないので、一つの動詞には一つの形しかない。





## 受動現在形 (2)

●タイプ<sub>2</sub>~6の動詞では、A不定詞の最後を伸ばして-nをつける。

② syödä 「食べる」

> syödä**än**

③ mennä 「行く」

> mennä**än**

④ tavata 「会う」

> tavata**an**

⑤ valita 「選ぶ」

> valita**an**

⑥ suureta 「大きくなる」

> suureta**an**



## 受動現在形（3）

- タイプ<sub>1</sub>の動詞では、語幹に-taan/-tään をつける。

puhua 「話す」 > puhu- > **puhutaan**

- kpt交替のある語では、kpt交替が起こる。

lukea 「読む」 > luke- > lue- > **luetaan**

- taan/-tään の前で a と ä は e に変わる。

lentää 「飛ばす」 > lentä- > lennä- > lenne- > **lennetään**



# 受動現在形（４）

- 否定形では否定動詞の **ei** と、肯定形の最後の **-an/-än** をとった形を結びつける。

syödään	⇔	<b>ei syödä</b>
mennään	⇔	<b>ei mennä</b>
tavataan	⇔	<b>ei tavata</b>
valitaan	⇔	<b>ei valita</b>
suuretaan	⇔	<b>ei suureta</b>
lennetään	⇔	<b>ei lennetä</b>



# 受動現在形 (5)

●受動形は「～しよう」という意味で使う。

**Tavataan** huomenna! 明日会いましょう。

**Opiskellaan** suomea! フィンランド語を勉強しましょう。

**Lennetään** Suomeen! フィンランドへ飛行機で行こう。

**Ei lähdetä** vielä! まだ出かけないでおこう。

**Ei puhuta** japania! 日本語は話さないでおこう。



## 受動現在形（6）

- 受動形は主語を表現しないときに使う。そのため主語は「人々」「彼ら」「私たち」などでありうる。もちろん「～される」と受動の訳し方ができれば、そうすればよい。

Suomessa **juodaan** paljon kahvia.

フィンランドではたくさんコーヒーを飲む。

Suomessa **puhutaan** myös ruotsia.

フィンランドではスウェーデン語も話す。



## 受動現在形（7）

- 口語では主語が Me 「私たち」 のときに受動形を使う。

Me opiskelemme suomea.

= Me **opiskellaan** suomea.

私たちはフィンランド語を勉強する。

Me emme opiskele ruotsia.

= Me **ei opiskella** ruotsia.

私たちはスウェーデン語を勉強しない。

